除すると云い、大橋一唐仁原両氏の智歯以外の先天性缺除例94歯に就ての記載を見るに、上顎側切歯、第二小臼歯に先天性缺除が頻発し、犬歯の先天性缺除は1例もないと云っている。佐藤氏は上顎永久犬歯と第一小臼歯の対称的缺除例を、永松氏、今村氏、津田氏は下顎左右対称的永久犬歯の缺除例をそれぞれ報告し、森本氏は姉弟に出現した永久犬歯の対称的先天性缺除の1例を報告している。

なほ歯牙缺除の原因として色々述べられているが、局所的原因として顎骨領域における外傷及び炎症の波及、全身的原因として内分泌障害、梅毒、佝僂病、遺伝、進化的現象等が述べられている。本例に於ては上記せる如く、本人のワツセルマン反応を検するに陰性であり一応梅毒は否定出来る。

所で本症例は左右対称的に上顎永久犬歯が缺除しているが、下顎左右の第三大臼歯及び上顎右側の第三大臼歯も缺除しており、藤田氏の言はれる如く退化現象特に犬歯独立退化の好例ではないかと思はれる。

IV 結 論

私は成人男子に於て上顎永久犬歯が左右対称的に先天性に缺除せる例を見出した。

本例に於ける先天性缺除は犬歯独立退化の一現象として現われたものであると考える。

稿を終るに臨み御指導並びに御校閲を賜った恩師中山教授及び灘吉教授に対し深謝致します。

(本稿は九州歯科学会昭和34年1月例会に発表した)

文 献

- 1) 佐藤峯雄; 対称的歯牙缺除2例、日歯学会誌 (27巻10号)
- 2) 今村 汎; 下顎両側犬歯の先天性缺如の一例、

満鮮の歯界 (9巻5号)

- 3) 津田文朔; 歯牙異常の臨床3例、日歯学会誌 (29巻3号)
- 4) 森本賢市; 姉弟に出現せる永久犬歯の先天性缺如例、口腔病学会誌 (22巻)
- 5) 森 忠男; 成人に於ける乳歯の残歯に就て、日歯学会誌 (23巻7号)
- 6) 和田直樹; 先天性歯牙缺如の遺伝的研究、歯科学報 (43巻35号)
- 7) 大橋一唐仁原; 先天性歯牙缺如 (智歯を除く) の実験例94歯並びに血液型より観たる本症例の考察、臨床歯科 (6巻1号)
- 8) 河合卓治; 成人に於て対称的に現われたる乳歯の残歯と永久歯の先天性缺如の一例、臨床歯科 (11巻8号)
- 9) 永松和子; 稀有なる下顎永久歯犬歯の対称的缺如の一例、九歯大—解論文集 (2号)
- 10) 池田亮一郎; 稀有なる歯牙缺如の一例、臨床歯科 (9巻2号)
- 11) 森地 侑; 乳歯の晩期存在と永久歯缺如の一例に就て、新歯科医報 (216号)
- 12) 野呂忠四郎; 第二乳臼歯の晩期存在と永久歯缺如の一例、新歯科医報 (219号)
- 13) 羽田宣男; 下顎乳臼歯晩期残存に第二小臼歯先天性の缺除を併発せる一下顎骨に就て、日歯学会誌 (26巻8号)
- 14) 藤田恒太郎; 哺乳類、とくに人類の歯の系統発生、解剖誌 (33巻2号)
- 15) 荷宮文夫; 成人に於ける上顎永久犬歯の対称的欠如の一例、満鮮之歯界 (昭和17年)
- 16) 藤田恒太郎; 歯の解剖学 (昭和32年)

模 型

左 側

右 側

ONE RARE CASE OF THE SYMMETRICAL LACK OF THE UPPER PERMANENT CANINE TEETH.

by

Shigemitsu Nomiyama

1st Dept. of Anat. of Kyushu Dental College.

(Direct. Prof. T. NAKAYAMA)

I have observed a case of the symmetrical lack of the upper permanent canine teeth.

In this case, there are a little obliteration on the teeth, but the upper and lower row of the teeth are both regular. And I could not find out that the remains of the milk canine teeth, the absorption of the bone beams, and the inclination of both right and left lateral incisor, by the naked eye or x-ray investigation.

In conclusion, this is considered as an interesting case of the inherent symmetrical lack of the upper permanent canine teeth.